

土着権力の研究

長崎県

[第3回]

有明商事

「海砂」利権で肥大化した新興勢力

まや県内に隠然たる影響力を發揮する存在へと成長した長崎の土着権力が、諫早市小長井町に本社を構える「株式会社有明商事」(中

村一喜社長)だ。

この海砂は地元の諫早湾干拓事業のほか、後述する全国の大規模公共事業に使われているが、一方でこの海砂採取がもたらす水産資源の破壊によって、玄海灘周辺では「(魚を)獲る漁業」が「(補償を)もらう漁業」へと変貌し、両者が奇妙に共存してしまっている。海砂業界事情通はこう話す。

この長崎の海砂利権を有してい

なっていました。原発事故で工事中断となってしまったが……」

県職員と結託し公文書を偽造

この日本最大級の海砂供給地「玄界灘」で有明商事は海砂利権を手にし、自民党参議院議員となつた金子原二郎前知事の県政時代、半ば公然と「規制破り」で海砂を乱獲し、大型公共事業に供給し、暴利を貪ってきた。この財力を背景に、長崎県の政官財界に張り巡らされた有明商事のネットワークが、同社の県内での隠然たる力を支えている。

有明商事の権益獲得の一端を物語るのが「長崎県職員の贈収賄疑惑」。海砂採取担当だったH課長補佐(当時)が有明商事を筆頭とする海砂業者の接待を受け、長崎県側に有利な「漁業取り締まりライ

ン」に境界線を変更する文書を偽

造したという事件だ。

当時、長崎県には有明商事によるH氏への接待疑惑の情報が次々と寄せられ、調査チームが設置された。その内部調査文書には

「担当する事務に關係する(海砂)業者との交遊等の噂が多い」「海砂採取に関し不適切な事務処理が多々見受けられる」とある。

調査チームは「典型的な贈収賄。

限りなくクロに近い」という確信を持って資料を取りまとめた。「海砂業者から接待を受けた見返りに

H氏は、長崎の海砂業者にとつて

採取可能区域拡大となる境界線変更をした」疑いが濃厚となつた。

これには長崎県警の関係者も関心を示していたが、ここまで疑惑が深まり、材料も揃つていながら、

不可解にも結局立件されることはなかつた。海砂業者の間では「金子知事ら県トップから圧力がかかつたのではないか」「有明商事に天下つてゐる眞警(OB)が動いたのではないか」と囁かれたのはこのためだ。

昨年十一月、総務省自治紛争処理委員による調停を申請し、改めてこの問題を提起した佐賀県の古川康知事は、かつて長崎県職員だった。古川知事は金子県政時代の県庁の腐敗・隠蔽体质の実態を

よく知る人物だ。

有明商事には、ダミー会社を使つた「規制破り」を派手に展開してきた過去もある。長崎県側の区間拡大に向けてダミー会社「シーサンド」を設立し、各社に割り当てられた採取量を超える違法操業を長年続けてきたのだ。有明商事とシーサンドはその後、代表権をめぐる争いを起こすが、裁判の中で有明商事の違法操業が浮き彫りになつていて、有明商事の違法操業を長年続けてきたのだ。有明商事は、諫早湾に臨む小長井町にある。海砂採取で成長してきた有明商事の原点は、かつて「宝の海」と呼ばれたこの諫早湾を破壊した干拓事業にある。この干拓事業こそ、莫大な利益を有明商事にもたらし、土着権力としての基礎を築いた。地元建設業者はこう話す。「諫早湾干拓事業で使用する砂は有明商事が主に供給していたが、他の道路

諫早開門で新たな利権確保へ

有明商事の中村社長の豪邸は、

諫早湾に臨む小長井町にある。海砂採取で成長してきた有明商事の原点は、かつて「宝の海」と呼ばれたこの諫早湾を破壊した干拓事業にある。この干拓事業こそ、莫大な利益を有明商事にもたらし、

豊かな漁場と多様な水産資源に恵まれた長崎県周辺は、漁場をつぶしながら採取するコンクリート材料「海砂」の一大産地といふ、相反するもうひとつの顔をもつ。かつて海砂の一大産地だった瀬戸内海をはじめ、漁業に壊滅的打撃を与えるとしていまや全国各地で採取禁止となる中、九州北部に広がる玄界灘では甘い規制が続き、入れ替わるように日本一の海砂採取地となつた。現在、海砂生産量の上位四県に周辺の福岡・佐賀・長崎が入つているのはこのためだ。

この長崎の海砂利権を有してい

建设や河川事業に比べ一割から二割程度も高値だった。高値の理由は一切明らかにされなかつたが、差額分がそつくり有明商事の利益となつたのは間違いない。

当時、有明商事が海砂採取をしていった諫早湾は水産物の宝庫で、多くの魚種の産卵場所にもなつて

いた。当然、水産業への悪影響が懸念され、地元の小長井町漁業協同組合の森文義組合長(当時)は、海湾内の産卵場所や漁場を荒らされるのを恐れ、「せめて諫早湾内の海砂ではなく、安い中国の砂を輸入して使ってほしい」と発注者の農水省に嘆願したが、聞き入れられることはなかつた。

この諫早湾干拓事業を推進したのは、当時の金子知事や谷川弥一衆院議員、久間章生元防衛相ら長崎県選出の国会議員である。谷川議員は谷川建設のオーナーとして、有明商事と密接に利害関係を共有している。干拓事業を受注した建

設業者は干拓推進派の国会議員に献金、発注権者の農林水産官僚の天下りも受け入れた。こうした政

官業の癒着構造の中でも、安い中国

産の砂は見向きもされずに、高い

粒で二度おいしい」話を手

諫早開門で新たな利権確保へ

諫早湾に臨む小長井町にある。海砂採取で成長してきた有明商事の原点は、かつて「宝の海」と呼ばれたこの諫早湾を破壊した干拓事業がある。この干拓事業こそ、莫大な利益を有明商事にもたらし、土着権力としての基礎を築いた。地元建設業者はこう話す。「諫早湾干拓事業で使用する砂は有明商事が主に供給していたが、他の道路

諫早開門で新たな利権確保へ

諫早湾に臨む小長井町にある。海砂採取で成長してきた有明商事の原点は、かつて「宝の海」と呼ばれたこの諫早湾を破壊した干拓事業がある。この干拓事業こそ、莫大な利益を有明商事にもたらし、

豊かな漁場と多様な水産資源に恵まれた長崎県周辺は、漁場をつぶしながら採取するコンクリート材料「海砂」の一大産地といふ、相反するもうひとつの顔をもつ。かつて海砂の一大産地だった瀬戸内海をはじめ、漁業に壊滅的打撃を与えるとしていまや全国各地で採取禁止となる中、九州北部に広がる玄界灘では甘い規制が続き、入れ替わるように日本一の海砂採取地となつた。現在、海砂生産量の上位四県に周辺の福岡・佐賀・長崎が入つているのはこのためだ。

この長崎の海砂利権を有してい

建设や河川事業に比べ一割から二割程度も高値だった。高値の理由は一切明らかにされなかつたが、差額分がそつくり有明商事の利益となつたのは間違いない。

当時、有明商事が海砂採取をしていった諫早湾は水産物の宝庫で、多くの魚種の産卵場所にもなつて

いた。当然、水産業への悪影響が懸念され、地元の小長井町漁業協同組合の森文義組合長(当時)は、海湾内の産卵場所や漁場を荒らされるのを恐れ、「せめて諫早湾内の海砂ではなく、安い中国の砂を輸入して使ってほしい」と発注者の農水省に嘆願したが、聞き入れられることはなかつた。

この諫早湾干拓事業を推進した

のは、当時の金子知事や谷川弥一衆院議員、久間章生元防衛相ら長崎県選出の国会議員である。谷川議員は谷川建設のオーナーとして、有明商事と密接に利害関係を共有している。干拓事業を受注した建

設業者は干拓推進派の国会議員に献金、発注権者の農林水産官僚の天下りも受け入れた。こうした政

官業の癒着構造の中でも、安い中国

産の砂は見向きもされずに、高い

粒で二度おいしい」話を手

諫早開門で新たな利権確保へ

諫早湾に臨む小長井町にある。海砂採取で成長してきた有明商事の原点は、かつて「宝の海」と呼ばれたこの諫早湾を破壊した干拓事業がある。この干拓事業こそ、莫大な利益を有明商事にもたらし、

豊かな漁場と多様な水産資源に恵まれた長崎県周辺は、漁場をつぶしながら採取するコンクリート材料「海砂」の一大産地といふ、相反するもうひとつの顔をもつ。かつて海砂の一大産地だった瀬戸内海をはじめ、漁業に壊滅的打撃を与えるとしていまや全国各地で採取禁止となる中、九州北部に広がる玄界灘では甘い規制が続き、入れ替わるように日本一の海砂採取地となつた。現在、海砂生産量の上位四県に周辺の福岡・佐賀・長崎が入つているのはこのためだ。

この長崎の海砂利権を有してい

建设や河川事業に比べ一割から二割程度も高値だった。高値の理由は一切明らかにされなかつたが、差額分がそつくり有明商事の利益となつたのは間違いない。

当時、有明商事が海砂採取をしていった諫早湾は水産物の宝庫で、多くの魚種の産卵場所にもなつて

いた。当然、水産業への悪影響が懸念され、地元の小長井町漁業協同組合の森文義組合長(当時)は、海湾内の産卵場所や漁場を荒らされるのを恐れ、「せめて諫早湾内の海砂ではなく、安い中国の砂を輸入して使ってほしい」と発注者の農水省に嘆願したが、聞き入れられることはなかつた。

この諫早湾干拓事業を推進した

のは、当時の金子知事や谷川弥一衆院議員、久間章生元防衛相ら長崎県選出の国会議員である。谷川議員は谷川建設のオーナーとして、有明商事と密接に利害関係を共有している。干拓事業を受注した建

設業者は干拓推進派の国会議員に献金、発注権者の農林水産官僚の天下りも受け入れた。こうした政

官業の癒着構造の中でも、安い中国

産の砂は見向きもされずに、高い

粒で二度おいしい」話を手

諫早開門で新たな利権確保へ

諫早湾に臨む小長井町にある。海砂採取で成長してきた有明商事の原点は、かつて「宝の海」と呼ばれたこの諫早湾を破壊した干拓事業がある。この干拓事業こそ、莫大な利益を有明商事にもたらし、

豊かな漁場と多様な水産資源に恵まれた長崎県周辺は、漁場をつぶしながら採取するコンクリート材料「海砂」の一大産地といふ、相反するもうひとつの顔をもつ。かつて海砂の一大産地だった瀬戸内海をはじめ、漁業に壊滅的打撃を与えるとしていまや全国各地で採取禁止となる中、九州北部に広がる玄界灘では甘い規制が続き、入れ替わるように日本一の海砂採取地となつた。現在、海砂生産量の上位四県に周辺の福岡・佐賀・長崎が入つているのはこのためだ。

この長崎の海砂利権を有してい

建设や河川事業に比べ一割から二割程度も高値だった。高値の理由は一切明らかにされなかつたが、差額分がそつくり有明商事の利益となつたのは間違いない。

当時、有明商事が海砂採取をしていった諫早湾は水産物の宝庫で、多くの魚種の産卵場所にもなつて

いた。当然、水産業への悪影響が懸念され、地元の小長井町漁業協同組合の森文義組合長(当時)は、海湾内の産卵場所や漁場を荒らされるのを恐れ、「せめて諫早湾内の海砂ではなく、安い中国の砂を輸入して使ってほしい」と発注者の農水省に嘆願したが、聞き入れられることはなかつた。

この諫早湾干拓事業を推進した

のは、当時の金子知事や谷川弥一衆院議員、久間章生元防衛相ら長崎県選出の国会議員である。谷川議員は谷川建設のオーナーとして、有明商事と密接に利害関係を共有している。干拓事業を受注した建

設業者は干拓推進派の国会議員に献金、発注権者の農林水産官僚の天下りも受け入れた。こうした政

官業の癒着構造の中でも、安い中国

産の砂は見向きもされずに、高い

粒で二度おいしい」話を手

諫早開門で新たな利権確保へ

諫早湾に臨む小長井町にある。海砂採取で成長してきた有明商事の原点は、かつて「宝の海」と呼ばれたこの諫早湾を破壊した干拓事業がある。この干拓事業こそ、莫大な利益を有明商事にもたらし、

豊かな漁場と多様な水産資源に恵まれた長崎県周辺は、漁場をつぶしながら採取するコンクリート材料「海砂」の一大産地といふ、相反するもうひとつの顔をもつ。かつて海砂の一大産地だった瀬戸内海をはじめ、漁業に壊滅的打撃を与えるとしていまや全国各地で採取禁止となる中、九州北部に広がる玄界灘では甘い規制が続き、入れ替わるように日本一の海砂採取地となつた。現在、海砂生産量の上位四県に周辺の福岡・佐賀・長崎が入つているのはこのためだ。

この長崎の海砂利権を有してい

建设や河川事業に比べ一割から二割程度も高値だった。高値の理由は一切明らかにされなかつたが、差額分がそつくり有明商事の利益となつたのは間違いない。

当時、有明商事が海砂採取をしていった諫早湾は水産物の宝庫で、多くの魚種の産卵場所にもなつて

いた。当然、水産業への悪影響が懸念され、地元の小長井町漁業協同組合の森文義組合長(当時)は、海湾内の産卵場所や漁場を荒らされるのを恐れ、「せめて諫早湾内の海砂ではなく、安い中国の砂を輸入して使ってほしい」と発注者の農水省に嘆願したが、聞き入れられることはなかつた。

この諫早湾干拓事業を推進した

のは、当時の金子知事や谷川弥一衆院議員、久間章生元防衛相ら長崎県選出の国会議員である。谷川議員は谷川建設のオーナーとして、有明商事と密接に利害関係を共有している。干拓事業を受注した建

設業者は干拓推進派の国会議員に献金、発注権者の農林水産官僚の天下りも受け入れた。こうした政

官業の癒着構造の中でも、安い中国

産の砂は見向きもされずに、高い

粒で二度おいしい」話を手

諫早開門で新たな利権確保へ

諫早湾に臨む小長井町にある。海砂採取で成長してきた有明商事の原点は、かつて「宝の海」と呼ばれたこの諫早湾を破壊した干拓事業がある。この干拓事業こそ、莫大な利益を有明商事にもたらし、

豊かな漁場と多様な水産資源に恵まれた長崎県周辺は、漁場をつぶしながら採取するコンクリート材料「海砂」の一大産地といふ、相反するもうひとつの顔をもつ。かつて海砂の一大産地だった瀬戸内海をはじめ、漁業に壊滅的打撃を与えるとしていまや全国各地で採取禁止となる中、九州北部に広がる玄界灘では甘い規制が続き、入れ替わるように日本一の海砂採取地となつた。現在、海砂生産量の上位四県に周辺の福岡・佐賀・長崎が入つているのはこのためだ。

この長崎の海砂利権を有してい

建设や河川事業に比べ一割から二割程度も高値だった。高値の理由は一切明らかにされなかつたが、